

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	創作活動
科目基礎情報						
科目番号	2098			科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気電子工学科			対象学年	1	
開設期	前期			週時間数	2	
教科書/教材	〔教科書〕 なし 〔参考書・補助教材〕 自作教材を適宜提供					
担当教員	田中 郁昭,前園 正宜					
到達目標						
各個人特有の才能を発掘し、創造性豊かな技術者を育成すべく、知的自己啓発、好奇心および柔軟な発想能力を高揚させるための実践的教育として創作活動に取り組む						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ブレーンストーミングや着想法を理解し、それを利用してアイデアを検討できる		ブレーンストーミングや着想法の考え方を理解することができる		ブレーンストーミングや着想法の考え方が理解できない	
評価項目2	グループワークによりアイデア出しを行い、出たアイデアを検討・整理して適切な結論にまとめることができる		グループワークによりアイデア出しを行い、出たアイデアを検討・整理することができる		グループワークによりアイデア出すことはできるが出たアイデアを検討・整理することはできない	
評価項目3	文章やポスター、プレゼンテーションツールを利用して、自分の考えを与えられた時間と条件の中で適切に表現できる		文章やポスター、プレゼンテーションツールを利用して、自分の考えを表現できる		文章やポスター、プレゼンテーションツールを利用して、自分の考えを表現できない	
学科の到達目標項目との関係						
本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 3-b 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 3-d 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 4-a 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 4-b						
教育方法等						
概要	これからの5年間で専門科目を学習する基礎となるように、授業は興味や学習意欲が向上するように身近な例を題材に取り上げて、できるだけ易しい講義内容にする。特に与えられたテーマに関して、(1)数人のグループでアイデアを出し合う、(2)出たアイデアを適切な方向性でまとめる、(3)まとめたアイデアを他者に分かるように伝える この三点を身につけられるように演習を行う。					
授業の進め方・方法	テーマごとに異なる少人数グループを構成し、グループでの話し合いを行うことが前提である。他者の意見を尊重し、色々な視点からテーマに沿ったアイデアを出して話し合いを進めていく。					
注意点	自分の意見をはっきりと主張し、一方で他者の意見も尊重することが求められる。グループで協調して数多くのアイデアが出るように話し合いを進めていくこと。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	高専で学ぶ学生としての態度とマナー	技術者として仕事をする上で必要な基本的素養を確認し、今後5年間の学校生活で注意すべき点・意識すべき点が理解できる		
		2週	着想法演習	ブレーンストーミング法などのアイデア出しの方法を理解し、グループに分かれて実際に利用し、検討結果を発表できる		
		3週	グループワーク1-1	与えられたテーマについてグループで検討を行い、アイデアを出せる		
		4週	グループワーク1-2	プレゼンテーションを行い、他者に自分達の意見を適切に伝えることができる。また自分達のプレゼンテーションを振り返り、改善点を見つけられる		
		5週	グループワーク2-1	与えられたテーマについてグループで検討を行い、アイデアを出せる		
		6週	グループワーク2-2	出たアイデアを適切な形にまとめ、プレゼンテーションするための準備を行える		
		7週	グループワーク2発表会	プレゼンテーションを行い、他者に自分達の意見を適切に伝えることができる。また自分達のプレゼンテーションを振り返り、改善点を見つけられる		
		8週	発表会の振り返り	実施した発表会について振り返り、よかった点や改善点についてまとめる		
	2ndQ	9週	グループワーク3-1	与えられたテーマについてグループで検討を行い、アイデアを出せる		
		10週	グループワーク3-2	出たアイデアを適切な形にまとめ、プレゼンテーションするための準備を行える		
		11週	グループワーク3-3	出たアイデアを適切な形にまとめ、プレゼンテーションするための準備を行える		
		12週	グループワーク3-4	出たアイデアを適切な形にまとめ、プレゼンテーションするための準備を行える		
		13週	グループワーク3-5	出たアイデアを適切な形にまとめ、プレゼンテーションするための準備を行える		
		14週	グループワーク3発表会	プレゼンテーションを行い、他者に自分達の意見を適切に伝えることができる。また自分達のプレゼンテーションを振り返り、改善点を見つけられる		

		15週	前期の反省・後期に向けて		前期の講義を振り返り、ジェネリックスキルの向上を中心に反省する。	
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・取得できる。	3	
				情報の真偽について、根拠に基づいて検討する方法を説明できる。	2	
				情報の適切な表現方法と伝達手段を選択し、情報の送受信を行うことができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	チームワークとリーダーシップ	チームワークとリーダーシップ	チーム活動において意見の相違や対立を踏まえて合意形成に向けて行動できる。	3	
				チームの協働関係の形成、維持、向上を促すための行動ができる。	3	
				チーム活動の目標共有を図り、目標達成に向けた行動を実践し、また、チームの協働を促進するための行動ができる。	3	
		情報収集・活用・発信力	情報収集・活用・発信力	デジタルツールを含む種々の手段や各種メディアを活用し、情報を収集できる。	3	
				信頼性・妥当性・有効性などを考慮しながら情報を検証・評価できる。	3	
				自己及び他者の権利に配慮し、適切な方法を用いて情報を活用し、効果的に情報発信できる。	3	
評価割合						
	グループの提出物		発表	取り組み姿勢	個人提出物	合計
総合評価割合	60		5	20	15	100
基礎的能力	0		0	0	0	0
専門的能力	60		5	20	15	100
分野横断的能力	0		0	0	0	0